

札幌開催

7.4(土)

13:00-14:30
(受付12:30)

家族会セミナー 個別相談会

どう関わればいいのか
分からない

支えたいのに、
うまくいかない

この先、どうなって
いくのか不安



依存問題、非行・触法問題、私の関わり方

会場 かでる2・7(北海道立道民活動センター)
710会議室

住所 札幌市中央区北2条西7丁目

参加費 500円(資料代として)



プログラム内容

家族会「ワンネスファミリーグループ」の運営メンバーによる、自身の体験談

- ・依存や触法行為等問題の発覚
- ・家族会との出会い
- ・自身の変化と関わりの変化
- ・家族にとっての「生きがい」とは?
- ・ワンネス財団元利用者・家族の親子インタビュー

ワンネス財団スタッフによる体験談

- ・家族との関わり
- ・問題解決のきっかけ
- ・生きなおしのプロセス
- ・スタッフ(応援者)としての葛藤、やりがい

ワンネス財団施設の活動紹介

ワンネスファミリーグループの紹介

終了後は、家族の交流会、個別相談会を開催します(希望者)。

家族のリアルな体験談をお届けします

「どう関わればいいのか分からない」

「支えたいのに、うまくいかない」

そんな悩みを、家族だけで抱えていませんか。

依存問題や非行・触法の問題は、本人だけでなく、家族の人生にも大きな影響を与えます。

今回のセミナーでは、家族会メンバーやワンネス財団スタッフが、自身の体験を率直に語ります。

さらに今回は、元利用者や家族による“親子インタビュー”も実施。

「どう変わっていったのか」

「家族は何に苦しみ、何を取り戻したのか」

経験した人だからこそ語れる、“生きなおし”のリアルがあります。

交流会・個別相談会(希望者)も開催。

一人で抱え込まないための、つながりの場です。

登壇者



片桐 淳 ワンネス財団 心理カウンセラー
ウェルビーイングカリキュラム制作責任者/公認心理師/
東北・山形オフィス責任者
カウンセラーとして20年以上の経験を持ち、カウ
ンセリングや心理講座、依存症支援などを担当。



土屋 瑞樹 ワンネス財団
セレニティパークジャパン沖縄 ディレクター
自身も依存症の当事者であり、その経験を活かし
ながら、ウェルビーイングを軸に、触法者や依存
症、様々な生きづらさを抱えた方の自己実現を応
援しています。



家族会(ワンネスファミリーグループ)
メンバー
ワンネスファミリーグループで活動する
家族として、実体験をお話します。

ワンネス財団とは?

私たちは、20年以上にわたり、刑務所・少年院出所者や依存症を抱える人、そしてその家族を支えてきた「生きなおし(更生)を応援する」団体です。
再犯防止や依存症脱却にとどまらず、「生きがいを取り戻し、幸せに生きること」を軸に、全国の傘下施設でこれまで約1,500名を迎え入れ、実践を重ねてきました。

【お問合せ】

ワンネス財団相談ダイヤル
0120-111-351
(月～金 10時から17時)

セミナー・相談会
お申込み



家族のための安心できる学びと交流の場

ワンネスファミリーグループ *Sapporo*

悩みを話し合い、経験を語り合いながら、生きがいを育むきっかけをつくります。

施設利用の有無にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。

札幌会場

原則第3日曜日 13:30～15:00

会場：札幌市内の会議室

会場や日時は回ごとに異なる場合があります。

右のQRコードよりご確認ください。

参加費
無料

会場案内ページ



※確認が困難な方はお問い合わせ先にてご確認ください。

※初めて参加される方は申し込みが必要です。

■ 主な対象者

- ・ 触法行為、非行、依存症、ひきこもりなどで悩みを抱えているご家族
- ・ 生きづらさを抱えているご家族

＼ 家族会に参加して得られる7つのイイこと /

1. 自分と同じような悩みを抱えている人に会える
2. 話を聞いてもらえ、他の家族の話を知ることができる
3. 触法行為や依存症などの背景を学ぶことができる
4. 当事者との関わりに必要なことが分かる
5. 当事者の話を聞くことができる
6. 仲間ができて孤独じゃなくなる
7. 元気になる！



※オンライン開催も実施しています。

(会場開催とは日程が異なります)

詳細は下記のQRコードからご確認ください。



■ お問い合わせ

ワンネス財団相談ダイヤル

☎ 0120-111-351

電話受付時間 月～金 10:00～17:00

会場の詳細や
最新情報はこちら生きがいをもちた
生きなおしの応援

私たちワンネス財団は、罪に問われた者、非行少年、ひきこもりや依存症者、そして家族の皆さまが「生きがいをもちて生きなおす」ことを応援しています。2005年に奈良県で活動を開始し、2013年には沖縄県で初の施設を開設。現在は、奈良と沖縄を中心に障害福祉サービス事業所や法務省保護観察所登録自立準備ホーム等を運営しています。各施設には全国から利用者が訪れ、これまでのべ1,400名を超える人たちの応援を行ってきました。

また、自治体からの受託事業、農園事業、馬場運営事業、訪問看護事業を実施。さらに全国からの相談対応、各種団体や学校での講演・セミナー開催などを通じて、地域の生きがいづくりにも貢献しています。活動のキーワードは「ウェルビーイング」。こころ・からだ・つながりを良好にし、単に再犯や再依存を防ぐだけではなく、その人が自身の幸せを育てていくことまでを応援します。

奈良、沖縄の各施設では様々なカリキュラムや生活支援を通じて個々の幸せを育むサポートを展開。生きなおした人が施設から地域に定着し、社会貢献し、犯罪や依存が減る社会を目指して、これからもウェルビーイングな生きなおしを発信していきます。

ワンネス財団は、マイナスをゼロにするだけでなく、ゼロからプラスへと向かう人材育成を目指しています。セラピューティックコミュニティ (TC) で心理的安全性を確保し、仲間を尊重し応援し合う環境を作ります。

また、ポジティブ心理学や自然のなかでのアクティビティ、アート、農業、ホースセラピーを通じて自己と向き合い、人との絆を深めます。自分の強みを見つけ、ワクワクする感覚を大切にしたいカリキュラムを提供しています。



回復から成長、生き甲斐へと繋がる施設カリキュラムの流れ

01. 回復

回復し、強みに気付く

休息し、回復する。自身の声に耳を傾ける。強みの棚卸しをする。

02. トレーニング

社会性/対話力を身につける

ソーシャル・コミュニケーションスキルを身につける。リレーションシップを感じる。強みを知り、磨いてみる。

03. 実践・インターン

強みを行動に移す

企業や連携したプログラムを通じて社会の中で、強みを活かす感覚を知る。多様な生き方に触れる。

04. 面接・就労

行動と社会を繋げる

強みを活かし、社会の中でパーパスを実現する。生き甲斐に気付く。